

# ラインコンバータご利用ガイド

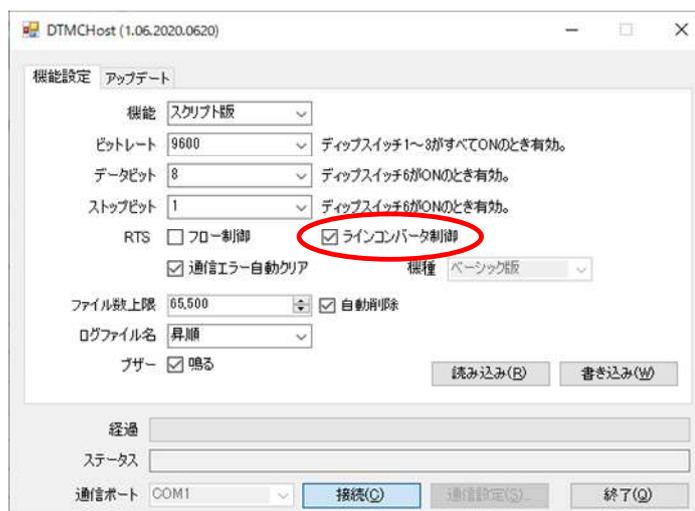
[DT-LC-485L]

2024年11月6日 株式会社データ・テクノ

2020年8月27日 株式会社データ・テクノ

## ■SD ロガーのラインコンバータ制御機能

ラインコンバータ(DT-LC-485L)を SD ロガーと一緒にお使いになる場合は、SD ロガーの「ラインコンバータ制御機能」を設定してください。



設定変更は、SD ロガーをパソコンと接続し、「設定変更ソフト(DTMCHost)」を起動して行ってください。

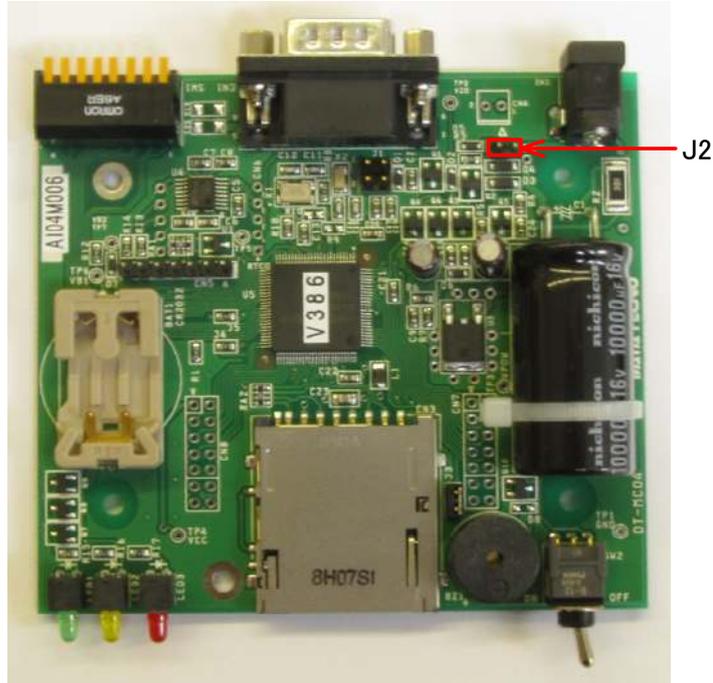
SD ロガーの設定変更の詳しい行ない方は、「DTMCHostの使い方」をご覧ください。

[https://www.datatecno.co.jp/datatecno\\_core/content/uploads/2019/10/DTMCHost-users\\_X519006-3.pdf](https://www.datatecno.co.jp/datatecno_core/content/uploads/2019/10/DTMCHost-users_X519006-3.pdf) (2024/11/06 現在)

## ■SD ロガーからの電源供給

ラインコンバータ(DT-LC-485L) SD ロガーと一緒にお使いになる場合、SD ロガーから電源の供給を受けることができます。

SD ロガーから電源の供給を受ける場合は、SD ロガーの基板上的 J2 を短絡してください。  
ケース入りの場合この作業は、ビスを外し、カバーを開けていただく必要があります。



(写真は SD ロガー-4 ですが、SD ロガー-5 でも同様です)

※SD ロガーの J2 を短絡すると、SD ロガーの D-Sub9 ピンコネクタ 9 番ピンから、CN2 DC ジャックへの供給電源が出力されます。ラインコンバータ以外のものを接続すると、ものによっては故障する可能性がありますのでご注意ください。

SD ロガーの使い方については「SD ロガー-5 取扱説明書[X521012-1](pdf)」をご覧ください。

[https://www.datatecno.co.jp/datatecno\\_core/content/uploads/2021/07/DT-SDL5-UserManual-X521012-1.pdf](https://www.datatecno.co.jp/datatecno_core/content/uploads/2021/07/DT-SDL5-UserManual-X521012-1.pdf) (2024/11/06 現在)

## ■ターミネータ

ターミネータは RS-485 接続の末端なる場合必要です。  
本コンバータが接続の末端になる場合、有効にしてください。  
ターミネータの抵抗値は 120Ω です。

SW1	ON でターミネータ有効
-----	--------------

## ■プルアップ・ダウン

RS-485 通信では、無通信のときすべての機器が電氣的に開放してしまい、信号レベルが不安定になることがあります。  
その際にデータが存在する方向に傾いてしまうと、うまく通信できません。

そのような場合はプルアップ・ダウンを有効にしてください。

プルアップ・ダウンを有効にすると、信号レベルをデータが存在しない方向へ安定させます。

SW2,3	ON でプルアップ・ダウン有効
-------	-----------------